

サクランボ特報 No 4

現状の生育ステージはほぼ平年並み、昨年と比べると7～10日遅れて経過しており、結実状況が判明してきました。4月中旬の低温の影響で、結実不良が散見されております。実が少ない場合には摘果作業は見送り、花カス落としや新梢管理を実施しましょう。

1. 今後の管理

* 摘果・結実が確定後

結実状況確認後(生理的落果終了後)摘果の実施。1花束状短果枝3～4果程度として、果実が密着しないようにする。また、樹勢や日光の入り具合をみて加減し、強樹勢樹・佐藤錦等は裂果防止・適樹勢維持のため着果はやや多目にする。

* 新梢管理(主幹形の場合)

- ・摘芯：満開から2～3週間頃から始める目安となります。6芽程度(4～5枚)または、基芽を残して新梢を摘芯する。
尚、樹勢を判断して強い新梢は若干長めに残し、徒長枝や枝が繁茂している箇所を中心に実施する。
- ・誘引：落ち着いた短果枝を確保する。徒長枝になりそうな強い枝は誘引し花芽着生を促す。

* 着色管理(樹上部の果実が着色し始めた頃の作業)

- ・葉つみ、葉上げの実施(過度の葉つみはしない。陰になりやすい場所を中心に)収穫予定の7日～10日前頃から果実に直接かぶさる葉を摘む。あるいは、輪ゴム等により葉をまとめ上げる。(葉上げは雨除けハウスで行う。露地は裂果発生のため、実施しない)
- ・反射マルチの利用ー白色マルチではタイバックを使用
- ・雨よけ施設の被覆 5月下旬(生育は昨年より7～10日遅れております。)

2. 薬剤散布(未成木も実施)

- ・隣接する園地や他作物にかからないようにする。

* 散布時期 5月中～下旬(18日～24日)頃

* 散布薬剤(水100ℓ当り)

・散布日	5月	日	・散布量	ℓ
------	----	---	------	---

オンリーワンフロアブル 50ml (前日、3回)

劇) テルスターフロアブル 33ml (前日、2回)

劇・・・ご購入の際は、印鑑をご持参ください

* 対象病害虫：灰星病、炭そ病、ショウジョウバエ類、ハダニ類

* 散布量：10a当り SS 500ℓ 動噴600ℓ

* 注意事項 ① 今回から収穫終了まで展着剤は加用しない。

② 肥大中期までの散布。汚れに注意する。

③ 黒斑病発生園は、ベルコートフロアブル2000倍(7日前、3回)を加用する。

④ ハダニ類の発生が心配される場合は、エコピタ液剤100倍(前日)を加用する。

* 栽培日誌の記帳および、初出荷日までに提出をお願いします。